



「青い魚」 颯田圭子氏

今月のことば

最近では異常気象現象を耳にすることが多くなり、多少の事では驚かなくなってしまう。今年では早めの6月13日に梅雨入りしたかと思ったら、6月27日に梅雨が明けてしまった。たった13日間しか梅雨はなかったことになる。史上最短と報じられ、初めてびっくりした。これも地球温暖化現象の一つと考えなくては行けないのだろうか？

異常といえばこの国の治安である。安倍前首相が街頭演説中に凶弾に倒れた。平和ポケなのかもしれないが、暴力で言論を制圧することにはあってはならない。ロシアのウクライナ侵攻や米国の銃乱射事件など、目を覆いたくなる。どうかこれからも、平和で美しく、楽しい日本であってほしい。(H. K.)

〈目次〉

今月のことば	1
頭蓋骨は語る (第18話)	2~3
古井脳神経外科 院長 古井倫士	
新院長紹介	4
山川内科 院長 清水周哉	
誰でも認知症になるんですよ	5
渡辺クリニック 院長 渡辺正樹	
ハシビロコウ、ふたば	6
ビーエム調剤薬局 薬局長 久米ちか子	
2022年夏期休診一覧	7
栄 (SL医療グループ) 近辺—39	8
絵画について (その2)	
森川クリニック 院長 森川建基	

頭蓋骨は語る（第18話）



古井脳神経外科 院長 古井 倫 士

頭痛縁起

時代とともに医学も進歩して、頭痛の原因を探れば200種以上を数えることができるようになりました。それらのどれが当て嵌まるのかを考え、治療法を選択する日々もなかなか骨が折れます。昔々の事情はどんなであったのでしょうか。鎌倉時代の1215年ごろ源頼朝によって著わされた『古事談』という説話集があり、なかに「清明、花山天皇の前世を知る事」と題してこんな話載っています。

清明は那智（紀伊半島の熊野あたり）で毎日滝に打たれ千日行を果たした尊い行者でした。花山院は在位中のある時期、頭痛に苦しんでおられました。ことに雨の降りそうなときに起こりやすく、どうしたらよいのか分らず悩んでおられました。いろいろな治療を試してみるので、どれも甲斐がありません。そんな折、清明は「お上の前世は尊い行者でありましたが、熊野の山中でお亡くなりになりました。前世の徳で天皇となられましたが、その髑髏が岩のあいだに挟まっているのです。雨が降ると岩が膨らむために髑髏が圧迫されて頭が痛むのです。どんな治療も詮なきことで、髑髏を取り出して広い場所に移されれば自然に治りましょう」と奏上し、髑髏のありかを告げます。花山院が部下に命じていわれるままにすると、再び頭痛に悩まされることはなくなったそうです。

花山院は平安時代の984年～986年に在位した天皇のことで、清明とは同じ時期に活躍した陰陽師の安倍清明のことで、安倍清明といえば読者の多くは夢枕獏原作の映画で野村萬斎の演じる水干姿の主人公を想い浮かべるかもしれませんが、陰陽師として活躍した実在のひとです。

平安時代は政治における決断は陰陽道による卜占（ぼくせん）の力を借りてなされるのが常でした。これを行うひとりが安倍清明だったのです。陰陽師は高貴なひとの病に対しても卜占と禊祓（みそぎはらえ）を行っていました。そのひとりが花山天皇で、清明は帝の前世の髑髏が岩に挟まっているのが頭痛の原因であると言い当てたといわれています。

帝の頭痛は雨の降りそうなとき、つまり低気圧に伴って起きやすいといっています。これは片頭痛の特徴のひとつです。片頭痛における頭痛発作は頭部の血管の過度な拡張が原因です。ところが、清明は雨に濡れて膨らんだ岩が髑髏を圧迫するか

ら頭痛が起きるのだと診断しています。これはサイズの小さい帽子を無理に被っていると起きる圧迫頭痛の説明にはなりますが、片頭痛における頭痛の説明としては正しくありません。しかし、清明のいうとおりにしたら頭痛は治ったというのですから、よしとしましょう。

『古事談』より100年ほどあとの1305年ごろに無住の手になる『雑談集』にも似た説話がみられます。ここでは頭痛に苦しむのは花山天皇ではなく12代のちに帝位に就く後白河法皇です。

後白河法皇は長年にわたり頭痛に悩まされておられました。名医を呼び、これはという薬を試しても一向に効果がありません。もしや前世の報いによる病かと案じられた法皇は観世音菩薩に祈願されました。すると、夢枕に本尊がお出ましになり、「法皇の前世は三井寺の法師で、その功德によって帝にもなれたのだが、いまは墓所にあるその髑髏は松の根に絡まれている。そのために頭が痛むのである」と告げられる。墓所を探して絡んだ根を切り捨てると、すっかり頭痛は消えてしまいました。

内容からこの話は明らかに『古事談』を元にしてしていると判ります。清明が登場しないのは法皇の御代すでに亡きひとだから当然です。では、頭痛に苦しんだのがなぜ花山天皇から後白河法皇になっているのでしょうか。

平安時代後期になると末法思想と相俟って死後を極楽浄土に求める浄土思想が広まり、貴族のあいだにも根を下ろします。そして次第にひとつとは現世にあっても浄土をみようとするようになり、藤原頼通の建立した平等院鳳凰堂はその実現例のひとつとして有名ですが、熊野の那智も観世音菩薩を本尊とする浄土に模され、ときどきの帝も御幸するのです。とりわけその回数が多かったのが花山天皇と後白河法皇だったようです。つまり、『古事談』と『雑談集』のいずれも浄土思想に根ざす熊野信仰に関係した説話だといえます。そのため、安倍清明は那智の行者とされ、後白河法皇の枕下には観世音菩薩が現われるのです。

『古事談』と『雑談集』の話は脚色を加えられて『熊野権現開帳』『祇園女御九重錦』『三十三間堂棟木由来』など浄瑠璃さらには歌舞伎の演目として今日に伝えられています。たとえば、『祇園女御九重錦』のなかには「白川（河）法皇が熊野詣に御幸すると三晩続けて熊野大権現が夢枕に現われ『法皇の前世は連華王という修験者で、功德によって

法皇にも昇れたが、前世の髑髏は柳の梢に掛かったままである。それ故に頭痛に悩まされるのである。早々に髑髏を探し出し、京の東に三十三間のお堂を建て、そこに安置すれば頭痛は癒えるであろう」と告げる」とあり、三十三間堂の棟木は髑髏の引っ掛かっていた柳の幹が使われたと伝えるのです。

三十三間堂は後白河法皇の意を受けて平清盛が造営した仏堂で、毎年正月に「柳の加持」と呼ぶ頭痛封じの法要が行なわれます。その由来がもっともらしい挿話として江戸時代の浄瑠璃で語られるのです。旧き時代には頭痛の病因が説話の類いで扱まって庶民はそれなりに納得したのでしょう。なお、ほぼ同じ内容の『三十三間堂棟木由来』では頭痛に苛まれるのが後白河法皇になっていますが、『祇園女御九重錦』では演題を構成する他段との兼ね合いから白河法皇に変更されたようです。

『祇園女御九重錦』『三十三間堂棟木由来』などの歌舞伎演目は『雑談集』や『古事談』を基にして脚色されていたのですが、『雑談集』や『古事談』にも参考にした説話があるようです。

『古事談』の成立から100年ほど遡る平安時代末期の1120年ごろに『今昔物語集』がまとめられます。「今(は)昔」の書き出しで始まる1000話以上を収めた全31巻に及ぶ説話全集のような書物です。話の内容によって仏教説話と世俗説話に分けることができ、前者のなかに「髑髏、高麗の僧道登に恩を報ぜる語」と題した話が載っています。

むかし、高句麗から渡ってきた道登という僧がいました。奈良の元興寺(飛鳥寺)に住んでおり、功德のためにと宇治川に橋を掛けることにしました。その最中、京都を訪れての帰り道で奈良山坂にさしかかると、道端に髑髏があつて人に踏まれています。哀れに思った道登は従者の童子に髑髏を木の上に置くよう命じました。時を経た大晦日の夕方、ひとりの男が訪ねてきて「道登さまの童子にお会いしたい」といいます。童子に見覚えのない男は「私は道登さまの徳によって長年の苦しみから解放されて安らかさを得ましたので、今夜是非とも恩に報いたいのです」といい、見知らぬ里に建つ家に案内します。そこには多くの食事が用意されていました。接待を受けたその夜、童子は人の気配に気づきます。男がいうには「私を殺した兄が来たので、私は去ります」。童子が「いったいどういうことなのですか」と問うと、「自分は兄とともに商いで各地を回って銀四十斤を儲けました。それを持って奈良坂を越すとき、兄は銀を独り占めしようとして私を殺したのです。なのに、家に帰って母には弟は盗人に殺されたと言ったのです。その後、髑髏となった私は旅人に踏まれ続けていたところ、あなたの徳深い師のおかげで木の上に挙げられて苦しみから逃れられたのです。あなた(童子)の恩も忘れられず、年の暮れの供物を差し上げたのです」。そう告げると男は不

意に姿を消しました。そこに、殺された男の母と兄が家に入ってきました。童子の居るのに驚き、「あなたはどなたで、なぜここに」といいます。童子はこれまでの経緯を詳しく話しました。これを聞いた母は同道した兄を睨みながら「おまえが弟であるわが子を殺したのであったか。知らなかった。盗人に殺されたといったのは嘘であったのか。悲しい」と泣き悲しむのでした。寺に帰った童子から一部始終を聞いた道登は深く哀れんだ。死んだ人の骸ですらこのように恩に報いるのであるから、この世の者も決して恩を忘れるべきではありません。それは御仏も喜ばれるはずです……。

この一席で髑髏は粗末な扱いによって長らく苦痛を強いられていたと語られていますが、頭痛という表現はされていません。しかし、髑髏の苦痛といえはまず頭痛を想い浮かべるはずで、『古事談』では髑髏に対する暴戾の結果が頭痛を引き起こしていたという具体的な表現に変化し、『雑談集』もその表現に倣ったのではないのでしょうか。

頭痛の縁起を辿ってきましたが、実は『今昔物語集』の一席も独創ではなく、さらに遡ることができます。平安時代初期の820年ごろに薬師寺の僧侶・景戒によって著わされた説話集『日本霊異記(日本国現報善悪霊異記)』の上巻に「人畜に履まるる髑髏、救い収められ、霊表を示し現に報ずる縁」、下巻に「髑髏の目の穴の筍を掲ぎ脱ち、もちて祈ひて霊表を示す縁」と題した二話が見つかります。それらの内容は強いて引用する必要のないほどに前述の『今昔物語集』の語るところと酷似しています。



『日本霊異記』

ここまで来ればもう一歩遡求してみようかと思つたのですが、わが国最古の書物『古事記』『日本書紀』『風土記』が712~720年の成立です。むしろそれらは説話と無縁ですから、『日本霊異記』にあるかもしれないお手本を本邦に求めるのは無理なようです。すると、唐などの大陸の古書を穿鑿する必要があるのでしょうか、文学者でない筆者にそんな作業は頭痛の種になりそうなので頭痛縁起はここまでとします。

新院長紹介



山川内科 院長 清水 周 哉

このたび、エスエル医療グループの山川内科を継承させて頂くこととなりました清水周哉と申します。自分は山川育夫名誉院長の娘婿になりますが、この度このような機会を頂けることとなりました。1973年横浜生まれで、来年50歳になります。中学は父の仕事の関係でマレーシアのクアラルンプール日本人学校に通い、高校は九州の福岡県立東筑高校で過ごしました。そして、名古屋市立大学で医学を学び、今では人生の大半を名古屋で過ごすようになりました。

自分は現在日本呼吸器学会に所属し、これまで慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、肺炎治療などの呼吸器内科診療に従事し、多数の検査・治療を行って参りました。胸部X線（レントゲン）異常や長引く咳、息切れなどが見られる方は是非ご相談下さい。それらの呼吸器疾患に対して、専門的な診療を行います。消化器内科につきましても胃カメラ、大腸内視鏡検査を含めた肝臓・消化管疾患に携わり、特に胆のう、胆管、膵臓疾患を専門領域として、様々な内視鏡診療や各種検査治療に従事して参りました。胆のう、胆管、膵臓疾患の診療には血液検査以外にCT、MRI、エコーなどの画像検査が必要ですが、特に重要なMRIについても近隣の医療機関で撮影可能です。読影はダブルチェックも行っており、細心の注意を払っております。それらをもとに専門的な診療を行いますので、いろんなアドバイスが可能となっております。特に膵臓がんについては予後も非常に悪く、ご心配な方は是非ご相談させて頂ければと思います。また、日本内科学会総合内科専門医の資格をもとに、高血圧、脂質異常症、糖尿病、高尿酸血症、肥満などの生活習慣病の管理、疾病の予防といった一般内科疾患についても多くの患者様の診療にあたらせて頂きました。今まで培って参りました

経験を糧に診療させて頂きますので、何でも柔軟に対応致します。

そして、なんと言いましてもエスエル医療グループには34もの診療所が存在し、幅広い診療科目に対応が可能となっております。各領域の経験豊富な医師が集結しており、相互に連携し合っておりますので、症状に見合った診療科にエスエル医療グループ内で紹介が可能です。X線（レントゲン）写真やCTはビル内で即座に施行可能で、血液検査もSRLという臨床検査センターがビル内に入っております。前述しましたように、MRIも近隣の医療機関で撮影可能ですし、画像検査の読影もダブルチェックを行っております。今まで社会保険中京病院（現・JCHO中京病院）、名古屋市立大学消化器・代謝内科学、名古屋第二赤十字病院（現・日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）などの総合病院で研鑽して参りましたが、それらの総合病院と同等の外来診療を行うことが可能となっております。そのため、患者様にとりましても安心して診療を受けて頂ける環境となっております。

山川内科は開院して以来、すでに地域の皆様をはじめ、遠方の患者様からも多くのお力添えを頂いております。これまでの義父の30余年にわたる患者様への医療の志を絶やさぬように、皆様の健康に貢献し、ホームドクターだからこそその親しみ、温もりと安心をお伝えしていきたいと思っております。皆様にとりまして、心地の良い頼りになるクリニックになれるようスタッフ一同努めて参りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。少しでも気になることはお気軽にご相談頂き、いっしょに治していきましょう。

誰でも認知症になるんですよ

渡辺クリニック 院長 渡辺正樹

「認知症になるくらいなら、死んだほうがマシ」、「自分に限って認知症になんかならない」という発言をよく聞きます。大きな間違いですよ。

そもそもアルツハイマー病は発症する20年前から脳内にアミロイドという異常物質が増えていくことから始まります。アミロイドは程度の差こそあれ、中年期を迎えたら誰でも脳内に生まれます。「死んだほうがマシ」と捨てゼリフを吐く人たちの脳内にも、おそらくアミロイドがウヨウヨいるはずですよ。長生きすれば、誰でもいつかは認知症になるのです。

アルツハイマー病を代表とする認知症は進行していく病気で、現在のところ治療薬は完成していません。巷で用いられている認知症の薬は“3～4年進行を止めておく薬”で、治療薬ではありません。アルツハイマー病が認知症として現れる20年前から、“敵”は脳内に潜んでいるのです。“敵”というのがアミロイドです。治療薬というなら、このアミロイドを退治しなければなりません。ところがその薬が作れないのです。

戦争に例えるなら、脳という領土にアミロイドという敵がはびこって、神経細胞という住民を攻撃している状態が、アルツハイマー病の発症前です。現在の薬は残った住民に食糧を与えているような働きをしているだけで、敵をやっつける作用はないのです。最近、このアミロイドを抑える薬が開発されつつあるのですが、まだ効果が不確かで、何より非常に高額です（一年で600万円！）。

しかしそんなに悲観することはありません。アルツハイマー病は以下の順で進んでいきます。

①中年期にアミロイドが生まれて増える



②老年期にストレスで神経細胞が弱る



③老後に神経細胞から神経ホルモンが出なくなる



認知症（“アルツハイマー病”）

ということは、以下の順にケアをすればアルツハイマー病の発症を遅らせることができると思います。

①中年期はメタボを管理してアミロイドを減らす



②老年期は自律神経を整えてストレスに備える



③老後はフレイル（心身の虚弱）を予防して神経ホルモンを増やす



認知症予防

それぞれの年代で適切なケアをすれば、アルツハイマー病の発症を遅らせることができるはずですよ。何を食べて、どう運動して、どのような生活スタイルを送れば良いのかは、それぞれの時期で異なるわけです。僕はこのような考えで患者さんを指導しているつもりです。

認知症が発症してしまったら、どんな脳トレより大切なのが運動です。運動の次が脳トレなのです。僕のクリニックでは、MISSIONと称して運動や脳トレの宿題を出します。努力、訓練がなければ薬は全然効きません。認知症の薬であるD薬とM薬を合わせて処方すると、一日に1000円近くかかります。現在、日本で認知症の患者さんが600万人いますから、半分の300万人が薬を飲むとすると一年に1兆円かかる計算になります。疎かに飲んでもらっては困ります。“頑張らないなら薬も飲まない”くらいの気持ちが必要です。

100歳時代に差しかかった我々は、いつか認知症になるという前提で人生を送らなければいけません。SL医療グループに通っていると、どうしても長生きしてしまいます。大切なことは認知症の予防は発症の20年前から始まっており、認知症と診断されたから人生が変わるわけではなく、それを機会にもう一度、頑張って認知症ケアに取り組んで欲しいということです。認知症から逃げてはいけません。

ハシビロコウ、ふたば

ピーエム調剤薬局 薬局長 久米ちか子



ハシビロコウという鳥をご存知ですか？

私は昨年、掛川花鳥園のYouTubeでこの鳥に出会いました。最近2年間、コロナ禍でどの動物園も休園や来場制限、3密を避けて来園者が減少し、運営が厳しい状況のようです。そこで世界中の多くの動物園や水族館はコロナ禍で会いに行くことが出来ない動物たちの姿をFacebookやYouTubeにアップして、珍しい生態やかわいらしい瞬間をオンライン配信する取り組みに力を入れています。掛川花鳥園もそうした人気動画サイトのひとつで、掛川花鳥園の人気モノがハシビロコウの「ふたば」なのです。

ハシビロコウはアフリカ大陸中央の白ナイル川流域、南スーダンやウガンダ、タンザニアなどの湿地に生息し、湖や沼のハイギョやナマズを餌にしているそうです。ハシビロコウは学問的にも不思議な鳥らしく、遺伝子解析からは最近ペリカン目に仲間入りしたそうです。でも、ペリカンのような水かきはハシビロコウの足にはほとんど無い。ハシビロコウという名前はクチバシの広いコウノトリという意味で、飛びかたはむしろサギに似ているんだそうです。この鳥は新潟県のトキ *Nipponia nippon* にも近い近縁の鳥のようです。

一度は出会ってみたい、一度出会うと忘れられない、外見が特徴的な不思議な鳥です。一言で表

現すると、「キリッと凛々しく、威厳があるけど、どこかオカシイ。「Funny」いや、「humorous」いや、「interesting」、とにかく一度で好きになりそうな独特な風貌なんです。立った時の頭の高さは地面から約120cm大きな羽を広げると250cmにもなるデカイ鳥なのに、沼地でじっと動かないので意外なほどに目立たないのです。そのピクリとも動かない姿を偶然見つけてしまったりすると、「オマエ、そこで何してんだよ」って、声をかけてしまいたくなるほどユーモラスで、親近感を覚えます。でも、実は彼らがじっと動かないのは餌のハイギョが水面に息を吸いに来るのをとらえようと狩りをして狙っているんですよ。ホントは獰猛な鳥なんだそうですよ。しかも、気難しい独り好きの性格なんだそうです。仲間が近くに居ても、絶対近づかない。つがいなんかにならないので、人工繁殖に成功した例はほとんど無いんだそうです。やっぱり動物園の環境は野生とはぜんぜん違うんですね。自然から離れて暮らす彼らは、ちょっとかわいそうな気になります。

とりわけ、掛川花鳥園のふたばは凛々しい風貌です。ハシビロコウの学名はラテン語で *Balaeniceps* と言うそうですが、これは「くじらアタマ」という意味だそうで、なるほどアタマでっかち。それに、寝ぐせが取れないで立ってるみたいな頭頂部の毛髪。そしてオランダの木靴みたいな不格好なでっかいクチバシ。たまりません。まさにかれらの頭の形は横から見たくじらそのものです。正面から顔を見ると、そのヤブニラミの目はマセラティのヘッドライトみたいにこわいけど、横からよくみると結構まん丸で可愛いつぶらな瞳をしています。この頭でっかちが、フラミンゴみたいな細長い脚ですくくと立ってるんですよ。カッコイイでしょ。そして、ふたばは愛嬌もある女の子。ハシビロコウには珍しく飼育員さんに挨拶の首振りをしたりするんですよ。ご興味がわいたかたは、是非ともふたばに会いに行かれることをお勧めします。わたしは掛川花鳥園で、ぬいぐるみ「ふたば」まで買ってしまいました。

エスエル医療グループ 2022年夏期休診一覧

印のない場合は通常通りとなります。通常休診、午後休診などにご注意下さい。

×印…休診日 △印…午後休診

階	2022年8月	10 (水)	11 (祝)	12 (金)	13 (土)	14 (日)	15 (月)	16 (火)	17 (水)	備考・その他の休診
9	たまい眼科ほのぼのクリニック	×	×	×	×	×	×	×	×	
	関谷耳鼻咽喉科		×	×	×	×	×			
8	森川クリニック		×	×	×	×	×			
	どい眼科クリニック		×	×	×	×	×			
	おおいわ消化器クリニック	△	×	×	×	×	×		△	
7	セントラル皮膚科		×		×	×	×	×		
	すずき呼吸器クリニック		×		×	×	×	×		
	金子内科		×	×	×	×	×			
	長谷川内科	△	×	×	×	×	×	×	△	
	服部内科クリニック		×	×	×	×	×			
	こんどう女性クリニック	△	×	×	×	×	×		△	
6	仲尾歯科		×	×	×	×	×			
	古井脳神経外科	×	×	×	×	×	×		×	
	亀井内科・呼吸器科		×	△	×	×	×	×		
	さかもと内科腎クリニック		×	×	×	×	×			
	夏目泌尿器科	△	×	×	×	×	×		△	
	やまうち消化器内科クリニック		×	×	×	×	×			
5	古澤整形外科		×	×	×	×	×			
	中川内科		×	×	×	×	×			
	栄かとうクリニック	△	×		×	×	×	×	×	
	恒川内科		×	×	×	×	×			
	おおの内科		×	×	×	×	×			
	山川内科	△	×		×	×	×		△	
	岡神経科	×	×	×	×	×	×		×	
4	はまだ代謝内科	△	×	×	×	×	×		△	
	栄内科	×	×	×	×	×	×	△	×	
	S L外科・乳腺クリニック		×		×	×	×			
3	すぎやまレディスクリニック		×	×	×	×	×			
	吉田内科	△	×	×	×	×	×		△	
	セントラル小児科		×		×	×	×	×		
	岩瀬内科・消化器内科		×	×	×	×	×			
	渡辺クリニック		×	×	×	×	×	×		
	磯部内科クリニック	△	×	×	×	×	×		△	
	第一歯科医院		×	×	×	×	×			

栄 (SL 医療グループ) 近辺 - 39 絵画について (その2)

前はドイツの留学先での、指導教授宅の絵画のお話をしました。その後海外の国際学会に行くたびに美術館訪問をしました。有名なパリのルーブル美術館は、余りにも大きすぎて、全部見学する場合数日かかってしまいます。そこで絵画のみ選択して見学しました。「モナリザ」の絵の前は長蛇の列で、多数の国の人々が並んでおり、私も大人しく並んで見学しました。

最近でもテレビでこの絵が何度も話題になり、「ホンモノ、ニセモノ、他にも同じ絵があった特集」などなど、興味は尽きません。この絵を見ていて不思議に感じる事は、通常の絵画と異

なり、鑑賞した後にも、頭の中に不可解な「微笑」の印象が残る事です。

このような後に残る「微笑」についても、多くの意見があるようです。幸福感とは別の、「モナリザ」を見た実感が後まで残る事です。この絵とは全く異なるムクの「叫び」でも同様な鑑賞後の感覚が尾を引く点では、いずれも強烈で長い間記憶の中に残っています。何故なのか何度も考えるのですが、それは今でも謎です。

森川クリニック 森川 建基



エスエル医療グループ

栄・中日ビル北斜向い
中区新栄町1-3 ☎951-3833

<http://www.sl-medical.gr.jp>

すぎやまレディスクリニック

院長 杉山 正子 ☎971-0930

吉田内科

院長 吉田 修 ☎951-0321

セントラル小児科

院長 森 孝生 ☎971-6237

岩瀬内科・消化器内科

院長 岩瀬 弘明 ☎951-1255

渡辺クリニック

院長 渡辺 正樹 ☎955-5060

磯部内科クリニック

院長 磯部 智 ☎971-0515

第一歯科医院

院長 高木 昭英 ☎951-1355

SL外科・乳腺クリニック

院長 伊藤 由加志 ☎971-6269

栄内科

院長 山田 琢之 ☎955-8020

はまだ代謝内科

院長 濱田 洋司 ☎957-3701

古澤整形外科

院長 古澤 久俊 ☎954-0335

中川内科

院長 中川 順市 ☎951-7532

栄かとうクリニック

院長 加藤 泰久 ☎961-3001

恒川内科

院長 恒川 誠 ☎951-1265

おおの内科

院長 大野 秀樹 ☎971-0950

山川内科

院長 清水 周哉 ☎951-1211

岡神経科

院長 岡 潔 ☎955-1606

仲尾歯科

院長 仲尾 峰泰 ☎963-4182

古井脳神経外科

院長 古井 倫士 ☎951-2223

亀井内科・呼吸器科

院長 亀井 三博 ☎951-2577

さかもと内科腎クリニック

院長 坂本 はずみ ☎961-2061

夏目泌尿器科

院長 夏目 紘 ☎971-5715

やまうち消化器内科クリニック

院長 山内 学 ☎957-2488

セントラル皮膚科

院長 坪根 幹夫 ☎973-0495

すずき呼吸器クリニック

院長 鈴木 清 ☎265-7250

金子内科

院長 金子 晴生 ☎971-5801

長谷川内科

院長 長谷川 鐘三 ☎961-5923

こんどう女性クリニック

院長 近藤 育代 ☎951-0500

服部内科クリニック

院長 服部 正樹 ☎962-8500

森川クリニック

院長 森川 建基 ☎961-1709

どい眼科クリニック

院長 土井 浩史 ☎211-9577

おおいわ消化器クリニック

院長 大岩 哲哉 ☎959-5560

たまい眼科ほのほのクリニック

院長 玉井 浩子 ☎955-8090

関谷耳鼻咽喉科

院長 関谷 健一 ☎951-7799

サカエきこえの相談室

☎ 961-4133